

くすのきだより

5月のことば
環境設定型保育～生活の見通し(人的環境)

令和元年5月1日

浅香 こども園

園長 矢追 正典

先月のことばで、自園独自の教育・保育ピラミッドで【生活習慣の体得】(養護)がピラミッドの土台となり、教育の部分へと繋がっていくという事は、見ていただけだと思います。

では、環境設定型保育と【生活習慣の体得】とはどのような関係があるのでしょうか?その疑問に今月は環境設定型保育の生活の見通し(人的環境)の視点からお伝えします。

環境設定型保育とは?

生活の日課を大切にし、毎日同じ流れ、同じ場所で生活することです。このような環境の中で生活することで見通しを持つことができ、次はこうしてみようと自主的に活動するようになっていきます。

注意!! 家庭でこんな関わりしていませんか?

①毎日の生活リズム、流れがバラバラ

例、寝る時間、起きる時間がいつも違う・起きてからの行動やこども園から帰ってからする事(着替え、食事、排泄、入浴など)の順番が決まっていない

☆生活リズムや流れを一定にする事で、次のことを予想し自ら行動したり、考えたりする力に繋がります。また、何をしたら良いのか、何が起こるのかわかる(見通しを持てる)と心が落ち着き、安心して過ごすことができます。

②子どもがすることに対して「昨日はよかったのに今日はダメ。」

例、お部屋の中を走って良い 等、『今日だけは良い』とルールを変えてしまう。

☆子ども達は混乱し、次の時にどちらをすればいいかわからなくなります。

そして、「今どうするべきか」を考えられなくなり、指示を待つようになります。一度決めたルールは、大人が勝手に変えてしまわないように気をつけましょう。一緒だからこそ、そこでの過ごし方がわかり(見通しが持てる)、ルールを守ることができるようになっていきます。

③子どものルールを大人が守っていない。

例、決まった場所に片付けると言ってるのに、大人が出しっぱなしや脱ぎっぱなしをする。

☆「大人だからいい」ではなく「大人だからこそルールをきちんと守る」事が大切です。

大人が子どもの手本となるように行動することこそ良き「人的環境」といえるのかもしれない。

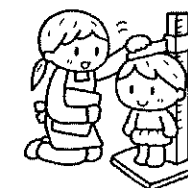
「生活習慣」も「生活のルール」もまず大人が手本を示すことや、守ることから育まれます。

環境設定型では、子ども達が生活する棚や玩具など配置を整えるだけではありません。関わる私達、大人の関わり(人的環境)も大切です。保護者の皆様も、お家でもできる子どもの年齢や発達に応じた関わり方や、より良い環境について見直し、一緒に考えてみませんか。

※ 5月の行事 ※

- ・ 8日(水)内科健診 ・あそびゴコロファクトリー (5才児)
- ・ 9日(木)薙刀指導開始(4才児)
- ・ 10日(金)英語指導開始 (3才児)
- ・ 14日(火)誕生会(1・2才)※3・4・5才は誕生月に担任よりご案内します。
- ・ 15日(水)園庭開放
- ・ 16日(木)～24日(金) 個人懇談会
- ・ 25日(土)職員会議 (保育は12:30まで)
- ・ 27日(月)第一回消防訓練 (避難訓練)

※ 身体測定は毎月1回行います。



新年度を迎えて早1ヶ月が過ぎました。

お父さんやお母さんも新しい仕事、新しい任務に日々、奮闘されておられるかもしれません。まだまだ小さいお子さんを育てながらのお仕事、本当にご苦労さまです。

こども園では子どもたちが愛情いっぱいあふれる場所で安心、安全に生活を行っています。

朝、離れる時に泣いても、心配しないで下さいね。

お父さん、お母さんの不安な気持ちを子どもの心に残さず、笑顔で「行ってきます!」と声をかけてあげて下さい。大丈夫ですよ。大人が思うより子どもは強いです。



ごはんのちから

子どもに「朝ごはんが大事」というホント...

脳はエネルギーがなければ動きません。成長期の脳は寝ている間に燃料をたくさん使うため、朝ごはんを食べないと燃料不足に。脳の燃料はブドウ糖で、甘い物を欲しがりますが要注意!空腹にいきなり糖質(ジャムパン・チョコパン・炭酸飲料など。お菓子なんてダメ!)を摂るといきなり血糖値が上がり、脳の機能が劣化していきます。「だるい、注意散漫、キレル」脳はこの糖が影響しているのです。

脳に効くのはやっぱり「ごはん」。朝は「おにぎり」なんていかがですか?

小さなおにぎり1個は子どもの元気の源。そして適度な運動を伴うことで天才能を育てるそうですよ。朝ごはんを食べ、しっかり歩いて登園してみましよう。